

平成 28 年度ふじのくに食の都づくり貢献賞受賞者概要

1 人々を惹きつける「食の都しずおか」の魅力発信

1	キリンビバレッジ株式会社 静岡支社（静岡市）	県産みかんを使用し、食の都シンボルマークを表記した飲料「キリン 午後の紅茶 こだわり素材のみかんティー」を全国販売した。 また、ふじのくに新商品セレクション受賞賞品が当たる消費者キャンペーンを実施した。
2	チーム ノリ Team NORI（藤枝市） （ふじのくにマエストロシェフ西谷氏が中心となった団体）	地産地消の推進を目的として収穫祭、食事会、料理教室等を開催し、地元食材の良さや、それを活かした調理法を伝える場を提供して、県産食材の魅力を多くの県民に発信した。
3	株式会社マース（菊川市）及び バレー・インターナショナル F&B Co.,Ltd（台湾）	台湾のカフェ・バレーと緑茶商品の開発・輸出を手掛ける(株)マースが連携し、静岡県産粉末茶を使用したスイーツ等の提供を通じ、静岡茶の良さを伝え、静岡茶のファンを増やし新たな市場を開拓した。

2 「食の都しずおか」を支える人材育成・ネットワーク活動の推進

1	クラブ F（富士宮市） （「食の都づくり仕事人」有志の会）	地場産品を用いた創作料理を提供する交流会や、健全な食を推進するワークショップ等を開催し、料理人、食育関係者、生産者等とのネットワーク活動を進め、地場産品の魅力の発信に取り組んだ。その結果、活動に参画する仕事人も増え、食をテーマとした地域住民による輪が拡大してきている。
---	----------------------------------	--